

公共施設における太陽光発電設備 導入可能性調査

朝倉市 環境課

【事業取り組みの背景】

朝倉市では、本事業に先駆けて、平成23年度から住宅用太陽光発電システム設置費補助を行ってまいります。同時期に東日本大震災が起こり、新エネルギーへの関心度が高まってきました。

市としても公共施設の建て替え等の際には、太陽光の設置を掲げてきたところです。本施設は、既存施設ではありますが、交流施設である「三連水車の里あさくら」を検討することになり、県の補助事業に公募することになった次第です。

【事業内容】

設備導入可能性調査の内容

○現地調査

- ①屋根耐力に関する調査(構造計算)
- ②来客者への意識調査(アンケート方式)

○事業化可能性調査(現地調査で可能の判断があった場合)

- ①導入仕様の検討(出力50kwh未満で設定)

※出力50kwh以上の場合、産業用となるため。

- ②費用対効果の検証(施設の消費電力の約10%)

○方針決定

- ①次年度以降の事業化計画

【今後の予定】

調査結果を受けて、総合的に判断した場合、来客者等の太陽光エネルギーに対する関心度も高く、構造計算的にも問題が無いことが判定できたため、この調査を基に、平成25年度当初予算に要求し、議決を得たため、所管課にて事業を実施することになっています。